

日 時：平成 28 年 2 月 16 日（火）18 時 30 分 ～19 時 55 分

場 所：尾崎多目的集会施設

対象地区：尾崎

参加人数：24 名

内 容
<p>○県道の拡幅について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>尾崎地区にある町居堰の上を通る県道について、通学路となっておりカーブがきつく見通しも悪いところがある。歩道を付けるなどの改修をお願いしたい。県の事業だとは思いますが、何とか改善できないか。</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>道路の右側を小学生、左側を中学生が通り登校しており、道路が狭いことから非常に危険である。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・平川市から県に要望している県道に関するものが 2 2 件ある。第 1 番目に要望しているところが平賀東中学校への通学路で、町居地区の県道の改修を要望している。学校から町居十字までの拡幅を交通安全の観点から要望しており、片側に歩道を設けてほしいとしている。・柏木小学校への通学路である吹上地区の県道も狭く、大型トラックがすれ違えない状態である。・今、ご意見をいただいた県道については、歩道を付けるとなると新たに橋を架けないといけない等の課題があるが、交通安全の観点からも要望する順番を上げるようにしたい。・県単独での事業実施は難しいところもあると思うが、粘り強く要望していく。
<p>○肺炎球菌予防接種への助成について</p> <p>（市民からの要望・質問）</p> <p>肺炎球菌予防接種への助成は、6 5 歳以上にもあるか。昨年 1 月に 6 5 歳になったが、市から通知等はなかった。6 5 歳で予防接種を受けなかった人は、7 0 歳まで待たないと予防接種は受けられないのか。</p> <p>（市の回答）</p> <ul style="list-style-type: none">・6 5 歳から 5 歳きざみで対象者に対し助成しており、助成額は上限 5 千円である。健康カレンダーやチラシを配布し周知しているが、今後周知の方法について検討してみる。・助成は一生一回なので 6 5 歳で助成を受けていない方は、それ以降の 5 歳きざみの年齢で予防接種を受ければ助成される。医療機関に保険証を持って行って、予防接種を受ければ助成されることとなる。予防接種を一度受ければ、次の接種までは 5 年間は間を空けるようにとされている。

(後日確認の結果)

- ・平成28年度からは、対象者に個別に通知する予定である。

○救急医療について

(市民からの要望・質問)

急病時、他市へ緊急搬送された場合、平川市から他市へ負担金を支払っているか。

また、平川病院が無くなり、現在は診療所の体制である。大きな災害があった場合には、他市の病院に搬送されることになると思う。この場合、他市の住民の方が優先的に治療されるのではと不安に思う。市内の病院で、市民の命を守ることが最優先であると思うが市の考えは。

(市の回答)

- ・1次、2次、3次救急の医療の維持に必要な経費については、近隣の市町村間で負担している。
- ・行政が市民の生命を守るということは、一番重要なことである。
- ・病院に関しては弘前市を中心とした医療圏を作っており、救急、救命体系を維持するために弘前市立病院や健生病院などで救急患者を受け入れしている。圏域で圏域の人の命を守っていくことになる。
- ・平川市の人が他市の病院に救急で運ばれば、平川市から病院のある自治体へ負担金を出している。
- ・大震災のような大きな災害があれば、地元だけの患者を診て、他地域の患者を診ないということはない。

○旧平川病院の建物について

(市民からの要望・質問)

旧平川病院の建物は今後どうなるのか。

(市の回答)

- ・正式にどのようにするかは決まっていないが、いずれ解体しなければならない。来年度予算案で、病院の解体工事設計費用を予算計上している。旧病院の敷地は、市役所新庁舎の建設候補地の一つであり、建設地は今年度中に決定し、来年度から基本設計に入っていく。
- ・旧病院の建物の解体に約2億円かかる。病院のところに新庁舎を建てれば、解体費用に合併特例債を適用できることから、市の持ち出しが2億円の33パーセントほどでいいこととなる。

○職業訓練、就職サポートについて

(市民からの要望・質問)

弘前市、黒石市にはハローワークがあり職業訓練を盛んに行っている。平川市でもこのようなことができないか。

今は60歳では年金がもらえず、65歳まで仕事をしないと生活できない時代である。

年金を受給するまで現役で仕事ができるか不安に思う。市で、就労支援などのサポート体制はないか。

高齢化に伴い、通院する病院も1つ、2つではなくなっている。年金から税金、電気、ガス、水道、通院費、治療費を支払うと生活費が残らない。低所得者のための生活支援など解決策はないか。

(市の回答)

- ・ハローワークは国で運営しており、弘前市、黒石市に設置されている。平川市に設置することは難しい。
- ・国で再任用制度を作っており、会社に定年後も残れる制度は作られているが、それぞれの会社によって違うと思う。平川市で高齢の方が働ける場所となると、シルバー人材センターくらいしかない。市で年金を受給するまでの方に対し、どのような対応ができるかは非常に難しいところである。
- ・来年度当初予算の総額が178億円であるが、このうち社会保障費が2割以上である。来年春から消費税が10パーセントになった場合、社会保障費が地方にどれだけ回ってくるか注視している。
- ・今年からの事業であるが、市で社会福祉協議会に委託し、生活困窮者支援制度事業を行っており、担当職員がいろいろな相談を受けている。ここで相談を受けると、市の福祉課の就労支援員と連携を取りながら、履歴書の書き方、面接指導、職探しのサポートを行っている。思い通りのサポートではないかもしれないが、利用してみてもどうか。

○重機オペレーターの育成施設の誘致について

(市民からの要望・質問)

大型重機の育成施設、免許取得施設が全国でも少ないようだ。これらの施設には資格を得ようと、全国からたくさんの人が集まっている。近隣の市町村でこのような施設はあるか。市にこのような施設を誘致できれば、市の活性化になるのではないか。

(市の回答)

- ・重機の運転は、車輛系の運転免許を取れば誰でもできるが、除雪等の作業をするためには作業をするための資格が必要になる。
- ・田舎館村に重機の資格を取る施設があるが、大型クレーン等の資格は取れない。一般的な自動車学校のようなものではなく、運転免許とは別に専門的な資格を取らなければならない。ドーザ、ユニック、玉掛けなどの資格は、取りやすい環境にある。

○紋羽菌対策への補助について

(市民からの要望・質問)

20日位前のりんご協会の新聞に、紋羽菌について掲載されていた。白紋羽を45度以上の熱を出すボイラーの蒸気で対応できるようだ。つくば市でやっているとのことであり、りんご協会に問い合わせたところ機器購入に140万円くらいかかるとのことであった。この機器購入に市で補助できないか。

(市の回答)

- ・白、紫紋羽とあるがスチームで殺すというのは、初めて伺った。紋羽を殺す技術を発明すれば画期的な発明であり、これが本当だとすれば良い機械だと思う。
- ・経済部でも機械への助成があるが、助成事業に該当するかである。該当しないとしても、市、農協でどのようなことができるかということになる。りんご協会にも聞いてみる。

○観光施設の新設について

(市民からの要望・質問)

アップルランドに観光バスが来て、観光客が宿泊しているが、平賀地域に観光施設がないので、そのまま別なところ行ってしまう。平賀地域に道の駅、りんご資料館があれば観光客を呼び込めるのではないか。

(市の回答)

- ・平賀町のときの観光地は、白岩森林公園、志賀坊森林公園、温泉があった。合併し平川市になり、旧3町村の良いところを活かしながら、市全体としての街づくりを進めている。各地域を回る観光コースを作り、PRしている。
- ・昨年、南九州市と一緒に福岡県で物産PRを行った。その時に、旅行会社を回って観光の宣伝をしてきた。平川市、田舎館村、黒石市の3つを組み合わせた津軽南地域の観光ルートを宣伝してきた。北海道新幹線が通れば、北海道からの観光客がこれまでよりも多く訪れることになる。津軽南圏域に来てもらえるようPRしていく。
- ・道の駅は国道沿いに設置されることから、国道が通っていないと難しい。
- ・平川市でりんご資料館を設置することは難しい。旧りんご試験場のところに資料館があるが、りんごの資料館は市単独というよりは県全体でのことである。
- ・文化センターの隣にある県の加工施設を市で取得する予定である。この施設も活用しながら、平川市をPRしていければと思っている。

○農産物直売所について

(市民からの要望・質問)

農協のアグリアスに直売所があるが、販売したいと新規で申し込みをしてもなかなか加入できない。販売する場所を広げるなど、販売したい人がもっと入りやすくできないか。加入にあたって選び方が公正でないと思う。

(市の回答)

- ・場所の制約もあるので、販売するエリアは広げられないと思う。また、直売所の運営に市は直接関与しておらず、直売所の会があると思う。実情がきちんと分からないので何とも言えない。

○袋小路の解消、除雪についてのお礼

(市民からの意見)

尾崎地区の袋小路が2箇所解消された。本当にありがたい。除雪もスムーズに行えるよ

うになり、地域の人も助かっている。この場をかりて、お礼申し上げる。

また、白岩までの道路の除雪をしていただき、管理棟の雪下ろしができた。今後の枝切りのためにも、幹線道路の除雪がされたので非常に感謝している。

○災害復旧工事について

(市民からの要望・質問)

豪雨で崩壊した浅井川の護岸工事について、復旧工事は現在の状況で終了なのか。今のままでは大雨になった場合、再度崩壊してしまうのではないかと懸念している。どうせやるならば、本格的な復旧工事をした方がいいのではないか。

(市の回答)

・県でも災害復旧の工事は、今年度でほとんど終わっているはずである。残っている災害箇所は、市で復旧工事をやらなければならない。状況を県に確認し、町会長へ回答する。

(後日確認の結果)

・土木課で雪解け後に現場確認を行う。

○新しい陸上競技場について

(市民からの要望・質問)

新しい陸上競技場は、何年後に完成するのか。完成すれば、観覧席もできるのか。

(市の回答)

・陸上競技場は、来年の3月末までに完成する予定である。競技場の周りに芝生で見るところができる。周り全てに観覧席は設置されない。